

はいたか

令和4年11月25日発行

佐礼谷小ホームページ <http://saredani-e.esnet.ed.jp/html/>

校訓

育成したい児童像

明るい子

考える子

がんばる子

学校・家庭・地域が連携して実施した防災教室

校長 中尾 治司

今年度、佐礼谷小学校は、「学校防災教育実践モデル地域研究事業」の指定校として防災教育に取り組んでおり、10月30日には、地域の防災力・教育力を高めることを目的に、家庭・地域と連携して「防災教室」を実施しました。この日は、佐礼谷地域に避難指示（レベル4）が発令されたという想定で、小学校体育館を模擬避難所に見立てて、自主防災会や住民自治されだにの役員や消防団、行政関係者、愛媛大学の学生など60名あまりが避難所設営・運営を行い、児童と保護者・家族が避難してくる形態で訓練を行いました。

当日は、避難用の室内テントや簡易ベッドを組み立てたり、非常食や炊き出しのうどんを食べたりする避難所生活を体験するプログラムや、5・6年生児童の防災マップの発表や講演等の学習を行いました。参加者から寄せられた意見の中から、いくつか紹介します。

- 佐礼谷の人の温かさを実感し、とても楽しい時間を過ごすことができました。地域力がすばらしいです。（愛媛大学の学生）
- みんなで協力することの大切さを学びました。普段のコミュニケーションが災害時に役立つと思うので、いろんな人と交流をしていきたいです。（愛媛大学の学生）
- 小規模校ならではの活動で、充実した活動でした。みんな知っている、知っている人がいるという安心感とつながりは大切だと思いました。（住民自治されだに役員）
- やってもらう意識で避難するのではなく、自分も何かする意識で避難するという考えを知ることができました。小学生なら小学生なりにできることを、おばさんならおばさんなりにできることを、自分のため、誰かのために何かをするという意識を忘れずにいようと思いました。（保護者）

防災教室は初めての試みでしたが、保護者の皆様や地域の皆様、多くの関係者の御協力により、実りの多い行事になりました。改めて感謝申し上げます。持続可能な地域づくりのためにも、今後も「つながり」と「かかわり」を大切にしていきたいと思います。

12月行事予定

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 4日(日) 廃品回収・全校学級 PTA 活動 | 19日(月) 分団会、全校5時間授業(14:50下校) |
| 5日(月) 県学力診断調査(5年)国・社・理 | 21日(水) 人権の花贈呈 |
| 6日(火) 県学力診断調査(5年)算・英 | 23日(金) 第2学期終業式(給食なし) |
| 11日(日) 廃品回収・全校学級 PTA 活動(予備日) | ★ ALT、ICT 支援員訪問 毎週火曜日 |
| 14日(水) 個人懇談(14:20下校) | ★ 教育相談員 毎週水曜日 |
| | ★ スクールカウンセラー 13日(火) |

※ 新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、予定が変更になる場合があります。御了承ください。

秋の遠足～秦皇山～

10月26日(水)に全校で秦皇山に遠足に行きました。約8kmの道のりを、自然を感じながら、一生懸命歩きました。秦皇山森林公園では、芝スキーや鬼ごっこをして楽しみました。いい天気にもまれて、素敵な思い出ができました。



しんこう山に行くときは、あしがつかれて木になりそうでした。ついたら、みんなでグラススキーをしました。かべにぶつかったり、あみにげきとつしたりしたけれど、とってよかったです。
1ねん ふくおか すばる



わたしが一番楽しかったことはみんなと歩いたことです。8kmも歩いたのでつかれたけれど、しゃべりながら行けたので、とても楽しかったです。また行ってみたいです。グラススキーは風がとても気持ちよかったです。

3年 水本 楓花

ぼくは遠足でしんこう山に登りました。1年生のときにも登ったことがあるけれど、そのときよりもスタートがもっと下からだったのでびっくりしました。登りきったときは、とてもうれしかったです。着いてから、みんなでおっこをしたことが一番楽しかったです。

4年 福岡 紬

防災参観日

10月30日(日)に防災教室(日曜参観)を実施し、5・6年生が防災マップの発表を行いました。また、佐礼谷自主防災会等、地域関係者の皆さんと協力し、模擬避難所の設営や非常食体験をしたり、非常持ち出し品のワークショップや愛大防災情報研究センターの松村教授のお話を聞いたりしました。



ぼくは、防災マップの発表をしました。ステージに立ったときは、地域のみなさんがこっちを見ていたので、少しきんちょうしました。山と山の谷間からは川が流れているということや、小さな川でも土石流が起きて危険なことなど、くわしく教えてもらったことをまちがえずに言えてよかったです。

5年 城山 信

防災参観日で防災のことについてたくさん学べました。テントの立て方では、支えている人がいないと倒れそうになるので、一人ではできないと思いました。防災マップの発表では、できるだけ前を向くよう意識しました。友達と協力し合って発表ができて本当によかったです。

6年 新田 福丸



「無意識の偏見」について考えよう

「無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)」とは、自分自身は気付いていない「ものの見方やとらえ方の歪みや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。些細な言動や何気ない行為に含まれており、見過ごされがちですが、様々な弊害を生みます。例えば…、

- 血液型で相手の性格を想像してしまう
- お酒が飲めないと付き合いが悪いと言われる
- お茶出しは、女性がやるものと決まっている
- 「普通は〇〇だ」「それは常識だ」ということがよくある

思い当たることはないでしょうか? 性別やその役割、少数派に対する偏見や思い込みなどに気付き、互いを尊重し合える思いやりを持った佐礼谷っ子になってほしいと思います。ぜひ、御家庭でも話し合っただけたらと思います。

ぼくは「無意識のへん見」で、女の子と男の子の区別を決めつけることや、自分の好みは人それぞれあるから決めつけてはいけないことがわかりました。みんな一緒だとは限らないので、自分がやりたいことをすればいいと思いました。

6年 宮本 禮玄

